



平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ランドコンピュータ  
 代表者名 代表取締役社長 諸島 伸治  
 (コード番号：3924 東証市場第二部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 小野 敏  
 (TEL) 03 (5232) 3046

第 2 四半期累計業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 8 月 8 日に公表した平成 29 年 3 月期通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)業績予想との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,640	百万円 220	百万円 221	百万円 140	円 銭 23.46
今回実績 (B)	3,433	157	161	105	17.56
増減額 (B - A)	△207	△63	△60	△35	
増減率 (%)	△5.7	△28.5	△26.9	△25.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成28年 3 月期第 2 四半期)	3,539	218	218	139	28.93

平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,770	百万円 571	百万円 572	百万円 355	円 銭 59.34
今回修正予想 (B)	7,500	480	485	300	50.22
増減額 (B - A)	△270	△91	△87	△55	
増減率 (%)	△2.6	△15.9	△15.2	△15.5	
(ご参考) 前期実績 (平成28年 3 月期)	7,413	558	524	323	62.58

## 2. 修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、システムインテグレーション・サービスにおいて金融分野の受注について、マイナス金利政策による金融機関のシステム投資の延伸等により前年比 75.7%と大きく下回ったことが大きく起因し、当初予想を下回る結果となりました。また、営業利益につきましては、売上高の低下及び第 2 四半期において不採算プロジェクトが数件発生したことに伴い、下期に発生が見込まれる追加コストを原価として損失引当をし、販売費及び一般管理費等を含め営業利益が 63 百万円悪化しました。この結果四半期純利益は当初予想を下回る結果となりました。

また、平成 29 年 3 月期通期の業績予想については、第 2 四半期累計期間の業績実績を反映し上記のとおり修正することといたします。

不採算プロジェクトについては、受注時点でのリスク判断の甘さや、リスク発生時のエスカレーションの遅れ等が原因で、システム構築時に問題が生じるケースが複数発生いたしました。損失引当については、その対応に要員を多数投入することになった人件費等を計上しております。金融分野においては第 3 四半期以降受注の増加傾向にありますが、その他分野において第 2 四半期における不採算プロジェクト発生によりその他案件において要員を確保することが難しくなり、新たな受注獲得が遅れ、売上が減少する予想となっており、それに伴い営業利益も減少する予想となっております。

今回の不採算プロジェクト発生を鑑み、全社員の階層別研修にて基本動作の徹底等について再教育を実施いたします。また開発プロジェクトのマネジメント意識を高め、的確にプロジェクトの問題点等のエスカレーションできる体制を整えてまいります。さらに各本部の PMO によるプロジェクト監視強化を行い、不採算プロジェクトの撲滅に努めると共に、経費削減等の経営効率化による収益基盤の改善に努めてまいります。

## 3. 期末配当予想について

上述のとおり、通期の業績見通しは下方修正いたしますが、来期以降のパッケージ SI・サービスを中心とした収益拡大を見込み、期末配当金の予想につきましては、平成 28 年 8 月 8 日に公表いたしましたとおり、1 株当たり 9 円を据え置くことになる予定です。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上